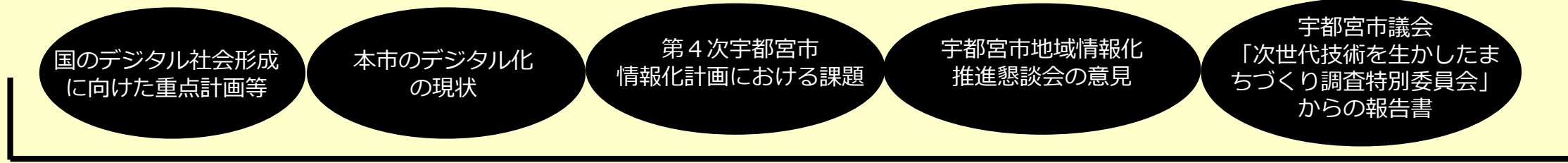


第3章 デジタル活用に係る主要な課題

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

地域社会全体のデジタル化を進める上での4つの主要な課題

国が示すデジタル社会形成に向けた基本理念や重点計画等を踏まえつつ、本市におけるデジタル化の現状（各意識調査の結果）、前計画である「第4次宇都宮市情報化計画」における課題、各分野・業界（医療、福祉、産業、市民団体、学識経験者、メディア、通信事業者、シンクタンク、環境、文化芸術）の主要な団体の代表者等により構成する「宇都宮市地域情報化推進懇談会」の意見、宇都宮市議会における「次世代技術を生かしたまちづくり調査特別委員会」からの報告書等を総体的に捉え、地域社会全体のデジタル化を進めていく上での4つの主要な課題を整理しました。



- 1 DXの推進に向けた環境の構築
- 2 デジタルデバイド対策の強化
- 3 デジタル人材の活用
- 4 データ利活用とセキュリティ対策の強化

序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

1 DXの推進に向けた環境の構築

事業・経営の発展へ デジタルを活用できる環境づくり

- 大企業等において先行するデジタル・トランスフォーメーション（DX）により、働き方の変容やビジネスモデルの転換などが加速していることから、中小企業や行政機関等においても、社会・経済の変化に適切に対応し、事業・経営の継続・発展に向け、デジタル技術を活用した経営改革により生産性の向上等を図っていく必要があります。
- 地域コミュニティにおける活動の維持・活性化や担い手となる人材確保などの課題解決に向け、地域のまちづくり活動等においてもデジタル化を推進していく必要があります。



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性（柱）	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

2 デジタルデバイス対策の強化

あらゆる市民がデジタルサービスを上手に利用できるように

年齢や障がい、技術（デジタル機器等への得意、不得意）の有無等により、デジタルを介した格差が生まれないように、利用者目線のサービス設計や個人の能力に応じた様々な選択肢を用意するなど、人に優しいデジタル化（デジタルデバイス対策）に取り組んでいく必要があります。

3 デジタル人材の活用

デジタル技術を利用活用できる人材と 実装・展開ができる人材の育成・活用

デジタル化を進めていく上では、市民がデジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を利用活用できるようにすることが重要であると同時に、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル技術を実装・展開できる人材が必要です。

そのため、デジタル分野の基礎的な能力の向上や、高度なスキルを有する人材の育成など、デジタル人材を効果的に活用できるよう取り組んでいく必要があります。



序章 策定の趣旨	1章 デジタル化の動向	2章 デジタル化の現状	3章 デジタル活用に係る主要な課題
4章 デジタル活用の基本理念	5章 デジタル活用の方向性(柱)	6章 デジタル活用の基本方針	7章 デジタル活用の推進に向けて

4 データ利活用とセキュリティ対策の強化

デジタル化により得られる多様なデータの利活用

デジタル化が進展する中、多様かつ膨大なデータが得られる状況になってきており、これまでと比較し、「より早く」「より細かく」「より新しく」、人の動きや経済活動を把握することが可能となり、実態に即した地域課題の解決や新たな価値の創出につなげていくことができることから、事業等の効果の最大化に向け、得られるデータの活用をあらかじめ想定し、戦略的に取り組んでいく必要があります。

安全・安心にデジタルを活用できる環境づくり

データやデジタル技術の活用に当たっては、安全性や透明性の観点から、強固な情報セキュリティ対策の実施や災害時の対応、さらには個人情報等の取扱いを明確化していく必要があります。